

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日  
東

上場会社名 株式会社ミクシィ 上場取引所  
 コード番号 2121 URL <https://mixi.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 弘毅  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 CFO (氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-6897-9500  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	58,752	25.4	16,132	227.8	14,050	257.1	13,890	250.5	9,333	334.3
2020年3月期第2四半期	46,835	△34.1	4,921	△76.8	3,934	△81.0	3,963	△80.9	2,148	△83.4

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 10,396百万円(427.3%) 2020年3月期第2四半期 1,971百万円(△85.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第2四半期	123	86	122	24
2020年3月期第2四半期	28	52	28	34

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	215,582	86.5	187,742	86.5	180,124	82.8
2020年3月期	202,814	88.8	181,305	88.8	180,124	82.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 186,397百万円 2020年3月期 180,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00	—
2021年3月期	—	55.00	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	120,000	7.0	23,000	14.6	19,000	10.8	19,000	12.3	13,000	20.8	172	53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	78,230,850株	2020年3月期	78,230,850株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,870,200株	2020年3月期	2,881,300株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	75,350,881株	2020年3月期2Q	75,349,550株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2020年11月6日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

2019年2月28日に行われた株式会社チャリ・ロトとの企業結合について前第2四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に資産・負債への取得原価の配分が完了しております。これに伴い、遡及修正後の数値を用いて比較分析を行っております。

また、2019年10月31日に行われた株式会社千葉ジェッツふなばしとの企業結合及び2019年11月29日に行われた株式会社ネットドリーマーズとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に資産・負債への取得原価の配分が完了しております。これに伴い、遡及修正後の数値を用いて比較分析を行っております。

## (1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	46,835	58,752	25.4%
EBITDA(百万円)	4,921	16,132	227.8%
営業利益(百万円)	3,934	14,050	257.1%
経常利益(百万円)	3,963	13,890	250.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	2,148	9,333	334.3%

当第2四半期連結累計期間の売上高は58,752百万円(前年同四半期比25.4%増)となりました。また、EBITDAは16,132百万円(前年同四半期比227.8%増)、営業利益は14,050百万円(前年同四半期比257.1%増)、経常利益は13,890百万円(前年同四半期比250.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,333百万円(前年同四半期比334.3%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの名称及び区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較及び分析については、変更後の区分に基づいて記載しております。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

## ① デジタルエンターテインメント事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	43,907	51,438	17.2%
セグメント利益(百万円)	10,690	24,840	132.3%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。「モンスターストライク」の売上高は、有力IPとのコラボや「劇場版モンスターストライク」などの自社コンテンツとのメディアミックス連携が功を奏し、堅調に推移しております。加えて、スマートデバイス向けゲーム「コトダマン」の売上も順調に拡大しており、「モンスターストライク」以外のサービスの収益化も進んでおります。

この結果、当事業の売上高は51,438百万円(前年同四半期比17.2%増)、セグメント利益は24,840百万円(前年同四半期比132.3%増)となりました。

## ② スポーツ事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	1,230	5,377	336.9%
セグメント損失(△)(百万円)	△1,360	△2,452	—%

スポーツ事業では、プロスポーツチーム経営、公営競技関連事業への投資を行っております。連結子会社である株式会社チャリ・ロト及び2020年6月にリリースしたスポーツベッティングサービス「TIPSTAR」の車券販売取扱高が好

調であったことや、株式会社ネットドリーマーズを子会社化した影響で前第2四半期連結累計期間と比較して売上高が増加しております。一方、「TIPSTAR」の開発費用や広告宣伝費等の先行投資が発生したことで費用が増加しております。

この結果、当事業の売上高は5,377百万円（前年同四半期比336.9%増）、セグメント損失は2,452百万円（前年同四半期はセグメント損失1,360百万円）となりました。

### ③ ライフスタイル事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	1,697	1,936	14.1%
セグメント損失(△)(百万円)	△424	△411	－%

ライフスタイル事業では、SNS「mixi」、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバム みてね」はマネタイズの強化を推進しており、株式会社スフィダンテと連携したギフトサービスを新たに展開するなど、売上高は前第2四半期連結累計期間と比較して増加しております。

この結果、当事業の売上高は1,936百万円（前年同四半期比14.1%増）、セグメント損失は411百万円（前年同四半期はセグメント損失424百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が157,765百万円（前連結会計年度末比11,645百万円増加）となり、主な要因としては、税金等調整前四半期利益による資金の増加があげられます。固定資産は57,817百万円（前連結会計年度末比1,122百万円増加）となっております。

負債については、流動負債が19,870百万円（前連結会計年度末比6,110百万円増加）となり、主な要因としては、未払法人税等及び未払消費税等の増加があげられます。純資産は187,742百万円（前連結会計年度末比6,437百万円増加）となり、主な要因としては、利益剰余金の増加があげられます。

### ② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて16,243百万円増加し、141,671百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は22,178百万円（前年同四半期は8,537百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少が1,454百万円及び税金等調整前四半期純利益が13,994百万円となったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は2,055百万円（前年同四半期は5,702百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出2,154百万円及び差入保証金の差入による支出1,130百万円があったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は3,864百万円（前年同四半期は4,546百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払4,144百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	125,427	141,671
受取手形及び売掛金	14,254	12,797
商品	256	231
未収消費税等	1,248	—
その他	4,977	3,106
貸倒引当金	△44	△42
流動資産合計	146,119	157,765
固定資産		
有形固定資産	10,338	9,821
無形固定資産		
顧客関連資産	7,671	7,332
商標権	3,302	3,157
のれん	11,937	11,405
その他	2,503	2,412
無形固定資産合計	25,413	24,308
投資その他の資産		
投資有価証券	9,917	13,344
繰延税金資産	6,111	5,824
その他	4,915	4,520
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	20,942	23,687
固定資産合計	56,694	57,817
資産合計	202,814	215,582
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	671	993
未払金	8,186	7,620
未払法人税等	124	5,004
未払消費税等	—	1,251
賞与引当金	1,262	801
その他	3,515	4,198
流動負債合計	13,759	19,870
固定負債		
長期借入金	2,952	3,066
繰延税金負債	3,418	3,687
その他	1,379	1,214
固定負債合計	7,749	7,968
負債合計	21,508	27,839
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,660	9,638
利益剰余金	171,138	176,327
自己株式	△10,905	△10,863
株主資本合計	179,592	184,801
その他の包括利益累計額		

その他有価証券評価差額金	330	1,412
為替換算調整勘定	201	183
その他の包括利益累計額合計	532	1,596
新株予約権	971	1,288
非支配株主持分	209	56
純資産合計	181,305	187,742
負債純資産合計	202,814	215,582

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	46,835	58,752
売上原価	9,738	12,384
売上総利益	37,096	46,368
販売費及び一般管理費	33,161	32,318
営業利益	3,934	14,050
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	9	7
その他	288	108
営業外収益合計	298	116
営業外費用		
支払利息	3	7
投資事業組合運用損	222	225
支払手数料	—	3
その他	43	39
営業外費用合計	269	275
経常利益	3,963	13,890
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	—	215
特別利益合計	3	215
特別損失		
特別退職金	—	100
固定資産除売却損	19	1
減損損失	69	—
賃貸借契約解約損	—	9
特別損失合計	88	111
税金等調整前四半期純利益	3,877	13,994
法人税、住民税及び事業税	1,250	4,652
法人税等調整額	479	9
法人税等合計	1,729	4,662
四半期純利益	2,147	9,332
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,148	9,333



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,147	9,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152	1,081
為替換算調整勘定	△24	△17
その他の包括利益合計	△176	1,063
四半期包括利益	1,971	10,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,972	10,397
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,877	13,994
減価償却費	478	722
無形固定資産償却費	335	827
減損損失	69	—
のれん償却額	173	531
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△222	△460
受取利息	△0	△0
支払利息	3	7
為替差損益 (△は益)	6	5
投資事業組合運用損益 (△は益)	222	225
固定資産除売却損益 (△は益)	16	1
たな卸資産の増減額 (△は増加)	104	25
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△215
売上債権の増減額 (△は増加)	375	1,454
未払金の増減額 (△は減少)	△2,385	△560
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11	1,251
その他	6,565	3,996
小計	9,611	21,806
利息の受取額	5	0
利息の支払額	△1	△6
法人税等の支払額	△1,077	△129
法人税等の還付額	—	609
特別退職金の支払額	—	△100
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,537	22,178
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,316	△315
無形固定資産の取得による支出	△82	△221
投資有価証券の取得による支出	△1,856	△2,154
投資有価証券の売却による収入	—	248
投資有価証券の分配による収入	152	86
差入保証金の差入による支出	△113	△1,130
事業譲受による支出	△1,030	—
敷金及び保証金の回収による収入	9	1,389
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,469	—
その他	3	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,702	△2,055
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△177
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△33	584
長期借入れによる収入	—	240
長期借入金の返済による支出	△6	△387
配当金の支払額	△4,520	△4,144
その他	15	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,546	△3,864
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,724	16,243
現金及び現金同等物の期首残高	144,417	125,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	142,693	141,671

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテインメ ント事業	スポーツ事業	ライフス タイル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,907	1,230	1,697	46,835	—	46,835
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	43,907	1,230	1,697	46,836	△0	46,835
セグメント利益又は損失 (△)	10,690	△1,360	△424	8,905	△4,970	3,934
その他の項目						
減価償却費	193	224	62	479	334	814
のれん償却額	—	141	31	173	—	173

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,970百万円には、報告セグメントの減価償却費△479百万円及びのれん償却額△173百万円、並びに各セグメントに配分していない全社費用△4,317百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第2四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社チャリ・ロトの暫定的に算出されたのれん償却額110百万円を計上しておりましたが、前第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したことにより、「スポーツ事業」の報告セグメントにおいて、減価償却費224百万円及びのれん償却額141百万円に修正しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテインメ ント事業	スポーツ事業	ライフス タイル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,438	5,377	1,936	58,752	—	58,752
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	51,438	5,377	1,936	58,752	—	58,752
セグメント利益又は損失 (△)	24,840	△2,452	△411	21,976	△7,925	14,050
その他の項目						
減価償却費	209	698	133	1,041	508	1,549
のれん償却額	—	468	63	531	—	531

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7,925百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,041百万円及びのれん償却額△531百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△6,352百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは第1四半期連結会計期間から、事業ポートフォリオの変化に合わせた事業ドメインの定義を行ったため、報告セグメントの名称及び区分方法を以下のとおりに変更しております。

従来「エンターテインメント事業」「ライフスタイル事業」としておりましたセグメントの名称及び区分方法を、第1四半期連結会計期間から「デジタルエンターテインメント事業」「スポーツ事業」「ライフスタイル事業」に変更しております。従来「エンターテインメント事業」に属していた連結子会社のうち5社を「スポーツ事業」に区分しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づいて記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

### 株式会社千葉ジェッツふなばし

2019年10月31日付で行われた株式会社千葉ジェッツふなばしとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の配分に重要な見直しが反映されております。

この結果、主に無形固定資産の顧客関連資産が増加し、暫定的に算定されたのれんの金額939百万円は、会計処理の確定により897百万円減少し、42百万円となっております。

### 株式会社ネットドリーマーズ

2019年11月29日付で行われた株式会社ネットドリーマーズとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の配分に重要な見直しが反映されております。

この結果、主に無形固定資産の顧客関連資産が増加し、暫定的に算定されたのれんの金額13,019百万円は、会計処理の確定により4,628百万円減少し、8,391百万円となっております。